

「およばれの日」遊び

東京市麹町區麹町幼稚園 柴田みどり

二月號におよばれの日遊びの秋を書かしていただきましたので今度夏を書きませう。初夏の頃の會にはやつぱり海に又水に其材料を取るのが適當でありませう。幼い子供等にとつて限りなく神秘なあこがれと不思議を藏したあの海

その海を充分に活かしたお話は浦島物語でありませう。海邊の龜、海の底、その底にある美しい城、乙姫様、玉手箱等の總べてを幼児は人形芝居や童話によつて親しみ知りつくしてゐる事と思ひますので、此を原案として海邊に遊ぶ気分、お舟遊びの楽しさ、魚つり、玉手箱の御土産などを主題として考へてみました。まづ案から書きませう。

案

今日は。花組の方も雪組の方もよくいらつしやいましたこの間から皆でお待ちしてゐましたよ。今日は大層よいお

天氣ですから、部屋で遊ぶのも惜しいと思ひましたので皆で海岸へ遊びに参りませう。汽車にのつて鎌倉へ行きませう。切符を買ひますからお金を上げませう。

(社會遊びの切符賣りの衡立を使い各自に切符を買はせ札口で鉄を入れてもらひ、豫め準備した椅子を並べた汽車にのる様にしても面白いが、組、部屋から遊戯室を會場としてそこまでゆる／＼と進むやうにしてもよい)

シュ／＼／＼ポツポツボ汽車が出ます。

(樂器を用ふるか又歌だけで汽車の曲を入れる小學唱歌の『今は山中今は濱、今は鐵橋渡るぞと』などは、適當と思ふ)

鎌倉、鎌倉早いな、もう着きました(着席)ホラ海ですサク／＼／＼砂が一はいですね、あゝ氣持が良い、海はなんて廣いのでせう。大きな波がドブン、小さな波がチャツ

ブン／＼と後から／＼よせて來ますね。まあ小さな貝が澤山ありますよ、みんな海の底から波に乗つて來たのでせうね。遠くには船が。皆も船に乗りたいでせう。丁度ボートがありますから、乗りませう。さ、漕ぎませう（律動遊戯の海、三ノ曲）ギツチラコツコノ）。水がきれいにすんでゐますから海の底まで見へますよ。お魚が泳いでゐるでせう、小さいのや大きいのや。釣りませうか。では代り番につりませう。次郎さんもつれたの、芳子さんは大きな鯛ね

澤山釣れました（全部すむまで釣らせる）おや魚が小さな聲で何か云つてゐます、靜に聞いてみませう、あのね海へ歸りたい、海へかへりたい。海へかへして下さればいい所へ御案内しますよと云つてゐます。いい所つてどこですか龍宮城ですつて。皆どうしませう。それなら海に又離してやりませう。魚も喜んでゐるでせう。オヤ／＼船が沈みかけて來ました。そうだお魚達が海の底につれて行つてくれるのかも知れませんが、それならしつかりとつかまつて眼をつむつてゐませう（この間に黒板に龍宮城の繪をはる）もう動きません、きつとついたので、眼を明けてみませう、まあきれいなこと、こゝが龍宮城でせうか、何だ御門

から美しいお姫様が出ていらつしやいます。乙姫様「皆様よくお出て下さいました、さき程は魚どもをはなして下さつて有難う御座いました、其のお禮にここへおまねき致しました、ゆつくりお遊び下さいませ、魚のダンスや歌をお見せしませう」手をうつ。

鯛 數名……律動のチルドレンボルカ

た こ數名……律動の黒坊

かつを數名……律動のおじき

（其の他人數によつていくつでもよろしい。順にいたします）

乙姫様「こんどは陸の人間のダンスをみせて下さいませ」（お客様から、三ツ四ツ歌か遊戯を出す）乙姫様この龍宮城はほんとうに美しいのですね、それに魚のダンスもお上手なこと、浦島太郎のお話のやうです、ながく遊んでゐたくなりましたが、でも浦島太郎の様に白髪のお爺さんになると大變ですからもう歸ります。

乙姫様「それはおなごり惜しい事です、では開けても嬉しい玉手箱をおみやげに差上げませう」これはありがたう御座います。では又さようなら、さようなら。もう海の上

に出ました。随分面白かつたのね、でも戴いた玉手箱を開けても大丈夫でせうか、ちよつと開けてみませう。まあ貝やお菓子が入つてゐます、嬉しいのね、ではお家のお父様やお母様に御土産に致しませう。さあ大急ぎで漕ぎませう。汽車も出るところ丁度よかつたのね。皆乗りますせう。(前の汽車の時と同じ)「ヨビ聲」東京、東京着きましたもうお家です、今日は皆で澤山お遊びして面白かつたのね、又どうぞ月組へいらつしやつて下さいませ。面白い事をして遊びませう。ではさよなら。終り。

相 談

- 1、前のおよばれの事を話合ふ。
- 2、浦島太郎のお話をする。
- 3、役割については誰でも好きなものになる事にしてゐます。

- 一、乙姫様、元氣な大きい女の子
- 二、切符賣掛 二人位
- 三、切符切り 二人位
- 四、魚達 四、五、種類 五人位づゝ。

4、土産のこと。

準 備

1、魚の冠作りと魚作り

畫用紙にそれ／＼の魚をかき採色して切抜き、紙テープに糊付け額の前に出る様にして結ぶ、魚はキンダーブーツの魚の巻を見てかいてもよろしいでせう。釣る魚は膽寫刷にします。魚の口の所に引かゝる様な輪をつけます

2、汽車の切符

色紙か畫用紙を適當に切り字の書ける者がカマクラとかく。

3、玉手箱

膽寫器で畫用紙に刷り、自分の好きな圖案にクレヨンでぬり切り抜いてはる、ふた付

4、つり竿

やゝ太いひごに糸糸を一尺程つけ針金を五分位のを折曲げて釣針として結付ける。

5、貝

ほんとのがあれば尙良いが無い時は畫用紙にかいて切抜き

く。

6、部室かざり

正面の黒板に海岸の繪をかき、別に模造紙三枚位つないて龍宮城の繪をかいてをく。

7、練習

乙姫様の言葉と魚のダンスを三回位練習。

お知らせ

1、字のかける者に招待の手紙を書かして各組に配る。

これで準備が出来たわけです。楽器をひく先生や子供を出す、先生との打合せが良く出来てゐませんと、上手に楽しく出来ません。この日は子供達は勿論先生も楽しみな日なのです。

當日

正面を黒板として左右にオルガン衝立を置き、お客様は半圓陣に並び、正面とお客様の間ヒル氏積木等でひろくかこつて中に魚をならべて置きます。切符賣場は組の部室に設けます。

これだけを一週間に仕上げるのですが子供の心から湧き出る考へを取る様にと心がけて進めて参りますから、自然に楽しい氣持の中に致せます。尙、六、七月頃の手法として單に魚つりだけの遊びとしても面白う御座います。マグネットを應用して色紙を二つ折にして魚をクレヨンでかき二枚のまゝ切抜き糊付けして、口元に折れ針をさし込みます。又、摺紙で金魚や鯉や龜をたゝんで、口元に針をつけて、マグネットを細い竹に一尺位の糸糸で結び付けて、ヒル氏積木でかこつたお池の中に魚を泳せてつり上げて遊びます。

(終り)

八月一、二、三日鹿兒島縣保育會主催にて本會の及川文字氏を講師とし幼稚園保育の實際及製作の實習に關する講習が開催せられます。